

木の風景

木の風景 [77]

津志田八幡宮の
イチョウ

所在地：津志田



イチョウ <銀杏・公孫樹>

イチョウ科 イチョウ属 [落葉高木]

津志田八幡宮の参道には、太い幹のイチョウがある。境内の周囲に立つ、「県緑化推進保存木」に指定されているクスノキなどの巨木に劣らない存在感を示す。

境内には、「津志田八幡宮グラウンドゴルフ愛好会」(31人)によって、

社殿を囲むように設計されたグラウンドゴルフ場が広がる。午後になると、きれいに整備されたコースを熟知した会員の皆さんが集まり、スティックを手に軽快な足どりでプレイを楽しむにぎわいが境内に響く。

<説明>

社寺の境内や街路樹として広く植えられて、高さ45m、直径5mになるも

のもある。樹皮は灰色で厚く、縦に割れ目ができる。

葉は幅5cmほどの扇形で中央に切れ込みがあるが、ほとんどないものもあり、秋には黄葉する。花は4月ごろに咲き、雌雄異株で、雄花は尾状で淡黄色、雌花は緑色で長い柄の先に裸の胚珠が2個ある。種子は直径約3cmの球形で9月ごろ成熟する。

広報

こうさ

2010年(平成22年)2月号
通巻487号

今月の表紙

津志田八幡宮境内に特設されたグラウンド・ゴルフ場でプレイを楽しむ「津志田八幡宮グラウンドゴルフ愛好会」の皆さん。